

## 【つくば市】農地や民家へのイノシシ接近防止

### 課題の背景

筑波山や宝篋山など筑波山麓地域において、農作物の被害が例年7月から9月にかけて発生しており、農家の生産意欲の低下が懸念される。また、民家近くに出没し、家庭菜園や庭先の石積など生活被害も発生している。被害状況（平成30年度）：被害面積 1,181a、被害金額 13,295,000円。

従来、市内猟友会の協力を得て、年4回、銃・ワナによる捕獲を実施しているが、狩猟免許保持者の高齢化に伴い、捕獲体制の確保が困難になってきている。

本取組をとおして、優良な実証結果が得られれば当該製品について将来的に優先的につくば市が購入し、関係各所（猟友会、農家等）にリースするモデルを想定している。

### 課題のゴール

- ・既存の捕獲（銃器・わな）・防護（防護柵）方策と連動し、人手不足に対応できる効果的な方法（音・光等）により農地や民家へのイノシシの接近を防ぎ、被害軽減を目指す。
- ・参考数値目標（令和4年度）：被害面積 775a、被害金額 8,723,000円

### 求められる要件（機能要求・関連基準等）

- ・地域住民や猟友会員により簡易に設置可能であること
- ・既存の捕獲（銃器・わな）・防護（防護柵）方策と連動しイノシシの接近を防ぐこと（イノシシの接近状況や生息域の把握なども可能であればなおよい）
- ・イノシシの慣れに対応可能であること
- ・メンテナンスが容易かつ多額のコストがかからないこと
- ・環境や安全性に配慮していること

### 協力事項

- ・過去のイノシシ対策関連データの提供（5kmメッシュの経年捕獲数）
- ・猟友会の紹介（狩猟期間11月～2月）
- ・実証実験におけるプロトタイプ設置場所の紹介
- ・（実証結果が優良であれば）来年度以降の優先調達機会の提供
- ・取組内容の評価